

## クリニカルサイコオンコロジーの理論と実践

授業科目名	クリニカルサイコオンコロジーの理論と実践	単位数 2 単位
英語標記	Practice and Research in Clinical Psycho-Oncology	
授業コード	360410	
受講人数	30 名	
担当教員	平井 啓、谷向 仁、足立 浩祥、西村 ユミ、松浦 成昭	
対象	大学院生、3 年次以上の学部生、社会人（若干名）	
開講時間等	10 月 2・3・16・17 日（1 限-4 限：4 日間）	
開講場所	吹田キャンパス：人間科学部 32 講義室	
キーワード	医療心理学 サイコオンコロジー がん医療 EBM 協働	
授業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. がん患者に対する心理的アプローチであるサイコオンコロジーをモデルとして身体疾患患者を対象とした行動科学的・心理学的アプローチの全体像について理解する。</li> <li>2. 患者の心理状態・精神医学的問題のアセスメントとケアについて理解する。</li> <li>3. チーム医療についてヘルスコミュニケーションの側面から理解を深める。</li> <li>4. 医療場面における精神医学的・心理学的研究の方法とその意義について理解する。</li> </ol>	
講義内容	<p>本講義は、現場の多職種からなる実践家と臨床での研究を目指す研究者が相互交流しながら一つのトピックについて学んでいく協働的・科学的実践家モデルに基づき、ワークショップ型の授業を行います。授業の前半は、がん患者に対する精神医学的・心理学的アプローチの方法であるサイコオンコロジーに関する諸問題やがん医療の概要について学びます。後半は、医療場面におけるヘルスコミュニケーションの実際や、患者のアセスメントや心理療法的介入の実際について学びます。また、チーム医療の観点からコンサルテーションの技術などについても議論を行い、お互いに学び合う場とします。この講義ではがん医療を一つモデルとして、他の医療分野、や福祉や産業場面における心理学的実践や研究にも適用・応用可能なさまざまな方法を提示します。</p> <p>10 月 2 日：担当：平井 啓・谷向 仁・足立浩祥</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 サイコオンコロジーの歴史</li> <li>2 がん医療の心理：がんの経過と心理状態とそれに対する介入の総論</li> <li>3 がん患者の精神医学的問題：せん妄・不安・抑うつ・不眠</li> <li>4 がん患者の精神医学的・心理学的問題のアセスメント：グループワーク</li> </ol> <p>10 月 3 日：担当：松浦成昭・平井 啓</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 がん医療総論：がんの病理学</li> <li>6 がん医療総論：主ながんの診断から治療の流れ</li> <li>7 終末期の心理的プロセスや問題の理解と評価</li> <li>8 家族・遺族の心理的問題</li> </ol> <p>10 月 16 日：担当：西村ユミ・平井 啓</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8 実践的ヘルスコミュニケーション：講義</li> <li>9 実践的ヘルスコミュニケーション：講義とロールプレイ</li> <li>10 チーム医療の理解と実践：コンサルテーション・リエゾンスキル</li> <li>11 チーム医療の理解と実践：多職種による模擬カンファレンス</li> </ol> <p>10 月 17 日：担当：平井 啓</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>13 がん患者への心理療法概論：認知行動療法等の心理療法スキル</li> </ol>	

14	がん患者への心理アセスメントと心理療法の実際：ロールプレイ
15	EBM と QOL・臨床研究のデザイン・研究倫理について
教科書	「医療心理学の新展開」北大路書房
参考書	講義中に適宜資料を配付する
成績評価	出席とレポートによる
履修条件・受講条件	4 日間の講義のうち、2 日間以上確実に出席できること。